

石神井西小学校における保護者との意見交換会 平成29年11月17日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>全国や都と比較し、瞬発力や投力に関する運動能力の低下が目立つと聞いています。子供たちの体力向上に向けて取り組めることがあれば教えてください。</p>	<p>練馬区の児童生徒の体力は、東京都の平均と比較して大きな差はありません。しかし、全国と比べると、その数値は下回っており、教育委員会として改善すべき課題として議論しています。</p> <p>小学校の体育科の授業では、学年に応じて様々な運動に取り組んでいます。さらに学校全体では、児童生徒の体力向上のために持久走や縄跳び集会など、各学校で工夫をこらした活動を行っています。しかし、学校以外で児童生徒が運動をする機会が少なくなっていることも体力低下の原因のひとつと考えられます。共働きの家庭も増えているなど、それぞれの家庭で事情はあると思いますが、屋外での運動について、保護者の皆様からも働きかけていただけると良いと思います。</p> <p>また、児童生徒の体力向上には、運動だけでなく、食事・睡眠・休養も重要です。生活習慣に対して保護者が常に意識することで子供の意識も高まり、体力向上にもつながっていきますので、家庭でも意識してもらえると良いと思います。</p> <p>また、子供と一緒に活動することが体力向上にもつながっていきます。</p>
2	<p>今後の英語教育・STEM教育について、練馬はどう取り組んでいくのでしょうか。 新宿の、年に2回の英語キャンプの実施は練馬区では開催できるでしょうか。</p>	<p>現在、全小学校の5、6年生を中心に、ALTを活用した外国語活動を行っています。さらに充実をしていかなければなりません。外国語活動のおかげで、小学校でも英語が飛び交うなど、だんだんと雰囲気が出ています。また、子供たちだけでなく、先生達同士でも一生懸命研修を行っています。</p> <p>新宿区では、子供たちが英語しか話せないところで2泊3日を過ごす英語キャンプというところがありますが、区ではそういった事業の導入はすぐには考えていません。英語教育が定着して、子供たちがどういう体験をすることが、英語力を伸ばせるかということ踏まえて、実施していきたいと考えています。</p> <p>STEM教育は、化学系や数学の教育分野に重点を置いたものです。学校で教える理数系の勉強は何より基礎と基本が重要と考えます。学力を定着させるために、各学年で東京ベーシック・ドリル等を使って、しっかりと基礎と基本を固めてもらいたいと思います。</p> <p>そのうえで、子供たちには学校教育支援センターで実施している科学教室の事業等に参加してもらい、関心を持ってもらいたいです。学校では体験できないことがありますので、学校とそれ以外の施設や機会を活用し、教育をより充実したものにしてもらえればよいと思います。</p>
3	<p>来春学区内に大型マンションが建設され入居がはじまり、児童数の増加が見込まれます。現在、教室が足りないのではという話を聞いています。今後児童数が増えた場合にはどのような対策を予定しているのでしょうか。 また、ねりっこクラブの移行については、どのようにしていくのでしょうか。</p>	<p>昔はもっともっと子供の数がいたので、教室は余っているだろうと思うかもしれませんが、学校ではさまざまな需要があり、普通教室を算数教室やコンピュータ室として使うなどしており、教室に空きがない状況のため、子供が増えていったときにどう対応しようかということになります。かつて普通教室で、今は別の用途に使用している部屋をまた元に戻すということが一番に考えられます。建て増しすればよい、仮施設を立てればよいと思われがちですが、そういったことも簡単にはできません。</p> <p>ねりっこクラブは、子供の数がどんどん増えていく中で、学童クラブの待機児童問題の解決方法のひとつではありますが、そもそも学校内で空いている部屋がない場合がありますので、そういった場合には学校の中で、特別教室を夕方だけ使わせてもらうなどの対応を考えています。今後、ねりっこクラブの実施に向けて、学校や学校応援団の方々とも話し合いを進めていきます。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
4	<p>近年、家庭学習の重要性をよく耳にしますが、放課後、長期休みの家庭学習や子供たちの学習できる環境などに対する教育委員会としての具体的な考え、取組みについて教えてください</p>	<p>小学校6年生・中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査の結果について、「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか」という質問がありました。その回答した勉強時間と正答率との相関が明らかになり、「学校の授業時間以外に勉強をする時間が長ければ長いほど正答率が高い」という結果が出ました。教育委員会としまして、学校で児童の学力向上に取り組んでいますが、学校と家庭が連携することで、学力が伸びていくと考えています。家庭学習を充実させる取組ですぐにできることとして、学校だよりや学年だよりに丁寧に目を通してみてください。読みこめば子供との話題が増えると思います。子供は親が関心を持ってくれていると感じると意欲がわくものです。</p> <p>放課後や長期休業期間など、子供たちがゆっくり学習できる環境については地域未来塾や放課後指導、補充教室等のさまざまな取組があります。地域未来塾は、希望する児童・生徒を対象にして、学校が放課後に大学生や教員OBなど地域住民の協力により、学習支援、個別指導や自習等を行っています。</p>
5	<p>トイレの和式から洋式への変更を希望します。区として進めているとは思いますが、今の時代、子供たちは和式をあまり使用してないようです。健康の為に洋式化について、スピード感をもって対応していただけないでしょうか</p>	<p>小・中学校のトイレにつきましては、平成29年度中に全ての学校で、1階から最上階までの縦の系統のトイレ配置である1系統の改修について、すべてで完了したところです。来年度からは、2系統目の改修を計画的に進めていきます。</p> <p>石神井西小学校では、東側のトイレについては、平成19年度に改修工事を終了しました。残る西側のトイレにつきましても、できるだけ早く改修工事を行いたいと考えています。トイレ改修工事の内容ですが、便器の洋式化や臭いの原因となっている排水管の取替え、照明の自動化・LED化や、だれでもトイレの設置や車いす対応などのバリアフリー化なども行っています。校舎以外の体育館のトイレにつきましては、今年度中に洋便器化の工事を実施する予定です。</p> <p>和式を使うことがほとんどない子供たちにとっては、ハードルが高いのかもしれない。私どもや教育委員会事務局の職員も、学校の校舎や設備について、「もっと良くしていきたい。」「より良好な教育環境を整備していきたい。」という思いがあります。しかし、練馬区内には99校に区立小・中学校があると話ししました。そのうちの約4割の40校は建築後50年を超えています。学校によって、いろいろとやらなければいけない工事が山積しています。優先順位を付けて、計画的に工事をしていかなければなりません。全体的な予算の限りもありますが、できるだけ早く工事をすすめていきたいと思っています。</p>
6	<p>石神井西小学校では、図書管理員が在室の日とそうではない日がありますが、授業のある日は図書室に誰かがいてくださるような図書管理員さんの配置をしていただくことはできないでしょうか</p>	<p>石神井西小学校には、関町図書館から学校支援モデル事業として「学校図書館支援員」を配置しています。</p> <p>学校図書館の人員配置は、業務委託または区立図書館の学校支援モデル事業により実施しています。いずれも年間100日(週2～3日程度)、1日6時間の支援を実施しており、これは週の半分は人がいて、残り半分は無人という状況です。ご意見のとおり、本来であれば毎日人を配置することができると思いますが、すべての小・中学校で行っているので、予算の問題があり、なかなかできません。支援員のいる100日を上手に利用してもらいたいと思います。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
7	<p>先生方はいつも子供たちひとりひとり丁寧に見ていただき感謝していますが、毎日夜遅くまでお仕事されていて、相当なご負担もお掛けしていると思います。昨今、長時間労働の問題が取り上げられていますが、練馬区の教師の実態はどうなっているでしょうか。全校への対策・計画について教えてください。</p> <p>また、産業医による面談や体調確認などは行われているのでしょうか。</p>	<p>練馬区の実態は、昨今、報道されているように、東京都が行った勤務実態調査の公表されている結果とそう変わらないのが実態です。練馬区では今後も実態把握にしっかりと努めていきたいと思えます。</p> <p>ただし、具体的に講じていることもいくつかあります。1点目は、会議の精選や時間短縮など、各校の実情に合わせて、現在取り組んでいます。</p> <p>2点目は、外部人材の活用です。先生方だけではなく、地域の方、外部の専門員の方に教育活動を支援してもらい、学校の先生が過重にならないように取り組んでいます。また、教育支援を行う学校サポーターを募集しています。地域の貴重な人材を、学校現場において積極的に活用することで、教職員の業務改善につながると考えて言います。</p> <p>3点目は、教育委員会から学校現場へ調査依頼について精査して、調査回答に時間を割くことが減るように努めています。内容を精査して、少しでも負担が軽くなるように進めているところです。</p> <p>学校の先生方が定期的に健康診断を受けることは義務になっています。身体だけでなく、心のストレスチェックも実施していますし、専門医と相談できるようになっています。その方にあった専門機関の紹介や心の悩みを聞いて、アドバイスをさせていただくことになっています。</p>